

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還）34

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43833">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43833</a>

45.  
9.  
9  
中曾根防犯長官、  
邦人記者団会見

ソカヒ 万大 博殿

大臣官審審長長  
 総人電厚計  
 備書文會管総  
 国資長領移長  
 参調析企  
 参領旅移

ア 参通中東  
 長 北北西  
 参北北保  
 中南審  
 欣 参西東洋  
 長 西東

近ア長経  
 次総経國万  
 長 参質統  
 経協長 参政技二  
 策 参条協協  
 長 参政経科  
 情 参通内外  
 長 一

注意 **アホ不**

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

278

電信写

総番号(TA) 44742  
 70年9月10日02時00分 米國 主管  
 70年9月10日15時05分 本省 発着 米保

外務大臣殿 牛場 大使 臨時代理大使 総領事 代理

ナカツネ長官の記者会見(防衛情報)

第2643号 平 大至急  
 往電第2642号に關し

9日ナカツネ長官は、1800から約30分間在ワシントン邦人記者団と会見し、レアード国防長官との会談内容(往電第2642号)の要点を説明し、ついで質疑応答を行なったところ、長官の発言中注目される点次の通り。

1. レアード長官の都合のよい時期に同長官を日本に招待したい旨申し入れた。
2. 在日米軍基地問題についてはレアード長官もわが方の考え方(冒頭往電参照)に同意したので、今後急速に進展するものと思う。
3. 安保協議委員会の構成メンバー問題については、レアード長官もこれを改正する時期が来たと感じているような印象を受けた。
4. パッカー国防次官主催のちゆう食会において、同次官は、オキナワのどくガスはなるべく早期に撤去し、ジコ

あ  
 存  
 ぐ  
 ね

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ンストン島に移すことを決定している旨述べた。

5. パッカー次官に対しては、ニクソン・ドクトリンに対するアジア諸国の反応を説明し、アジア人の心理をよく理解し、ニクソン・ドクトリンの適用をぜん進的に行なうとともに、各国の軍の近代化、経済援助に努力することが重要である旨述べた。

6. 本日の会談を通じ、日米の安全保障問題について、両国の最高レベルが直接意見を交換する機会をもつことが極めて有意義であることをつう感した。

(了)